事例No.	1764
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	青森県六戸町

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・公共施設の集約化等 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

公共下水道の流域下水道への編入・接続

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【青森県六戸町】
公共下水道の流域下水道への編入・接続

広域化等　下水道事業

青森県六戸町建設下水道課

● 取組の概要

施設の老朽化による更新需要の増大などの課題に対応するため、汚水処理区を統合した。

◆総事業費　建設費・委託費　764,980千円

◆背景

- 青森県六戸町の公共下水道小松ヶ丘処理区に係る小松ヶ丘処理場の老朽化に伴う更新費用に多額の費用が見込まれ、また、供用開始以来、維持管理等を委託しており、多額の維持管理費が発生していた。
- この課題を解決するため、公共下水道小松ヶ丘処理区を馬淵川流域下水道へ統合することとした。

◆具体的内容

- 公共下水道小松ヶ丘処理区の小松ヶ丘処理場を廃止し、馬淵川流域下水道へ既に接続済の流域関連公共下水道までの管渠を整備することで、小松ヶ丘処理区を馬淵川流域下水道へ編入・接続した。
- 旧小松ヶ丘処理場跡地は、今後有効活用を検討している。

◆効果

- 小松ヶ丘処理場を廃止し馬淵川流域下水道でまとめて汚水処理を行うこととしたため、小松ヶ丘処理場の施設更新費が削減された（▲約86,000千円）。

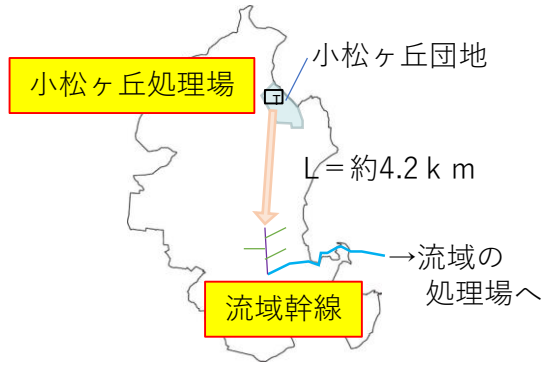
● 取組のポイント

- 接続先の流域関連公共下水道（流域幹線に接続済）までの管渠の整備は約4.2kmだが、管渠の新設等に係る費用を考慮してもなお、編入せず現状維持とした場合に比べて事業費を軽減できる見込みとなったため、実施を決定した。
- 円滑に事業統合を行うため、県など関係機関と調整しながら、基本計画及び実施設計を策定した。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　10,867 人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　83.89km^2（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　6,447人（令和3年度決算）

処理区統合イメージ



● 取組のスケジュール

- 平成25年度に検討を開始し、令和4年度に小松ヶ丘処理場を廃止。
- 令和4年9月から供用開始。

● 今後の展望

- 厳しい財政状況下においても安定した下水道事業の運営を可能とするため、更なる営業費用の抑制（不明水対策等による流入水量抑制など）を検討する。